

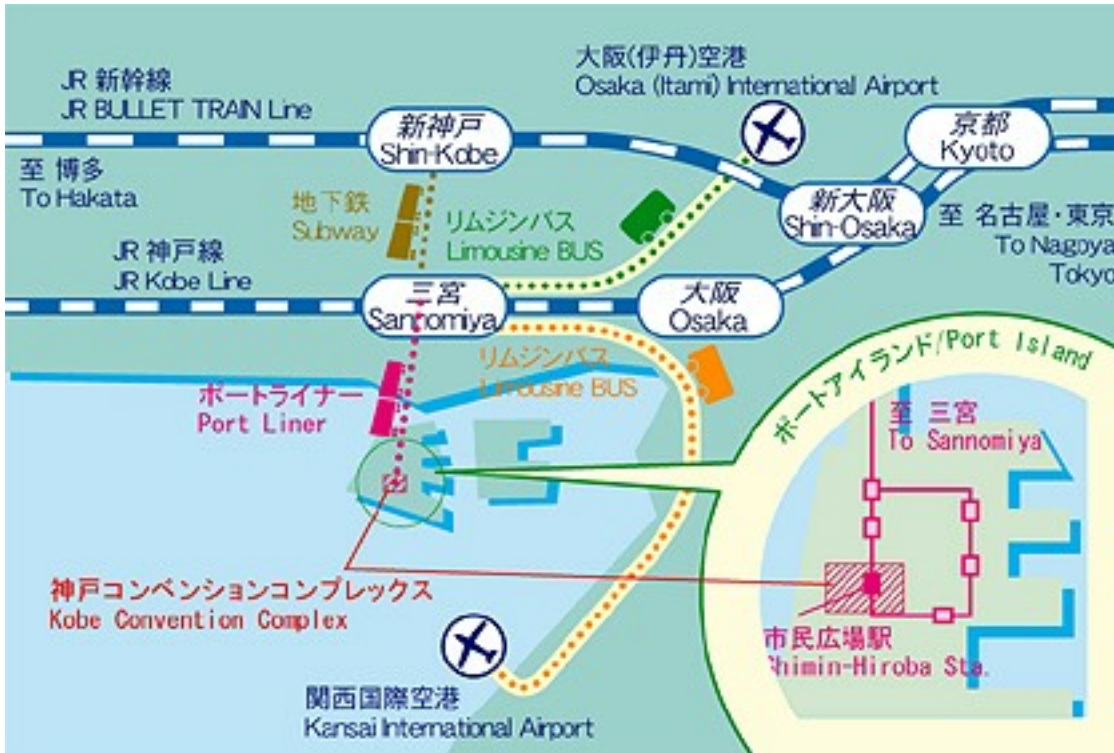
第8回震災対策技術展 2004 同時開催セミナー・シンポジウム（神戸会場）

日 時	2004年1月30日（金）	13:00～16:00
場 所	神戸国際展示場 2号館 3階 3A会議室	
共 催	災害対応研究会 / 京都大学防災研究所巨大災害研究センター	
主 題 (テーマ)	「災害対応研究会」公開シンポジウム 「日本社会に適した危機管理とは何か」	
趣 旨	<p>2001年9月11日に米国で発生した同時テロでは、まったく予想のつかない事態に対する社会の危機対応能力が問われた。そして、米国の対応は、「どのような危機に対しても効果的な危機対応できる計画」を持つ一元的で包括的な危機対応システムの有効性を証明した。わが国は先進諸国の中で一元的な危機管理システムを持たない国である。しかし、我国でも、都市洪水災害の激化、南海トラフ沿いの広域巨大地震の発生、BSE対策、同時テロ、近隣国からのミサイルの脅威など、各種の予想外の危機的な状況が続発しており、どのような危機に対しても効果的な危機対応できる計画を持つ包括的な危機対応システムの構築は我国が行なうべき構造改革の一つであるといえる。わが国の社会風土に適しつつ、「どのような危機に対しても効果的な危機対応ができる計画」のあり方を検討する。</p>	
内 容	<p>13:00～14:00</p> <p>14:00～16:00</p>	<p>基調講演 「日本社会に適した危機管理の必要性」 林 春男 京都大学防災研究所教授</p> <p>パネルディスカッション 「日本社会に適した危機管理のすがた」 パネリスト： 「危機管理の現場を預かる立場から」 務台 俊介 総務省消防庁防災課長 「組織の立場から」 野田 隆 奈良女子大学人間文化研究科助教授 「対応施策の立場から」 立木 茂雄 同志社大学文学部教授 「ニューヨーカーの立場から」 David Mammen ニューヨーク大学行政研究所長 コーディネータ： 林 春男 京都大学防災研究所教授</p>
定 員	200名	
参加料	無料	
参加申込	当日先着	
問い合わせ	<p>☎611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター Tel : 0774-38-4273 FAX : 0774-31-8294</p>	

● 神戸国際展示場

650-0046 神戸市中央区港島 6-11-1 TEL: 078-303-7516 <http://www.kcva.or.jp>

JR 三ノ宮よりポートライナーにて 10 分 市民広場駅前 下車 西すぐ



E



